

| タイトル インターネットの利用と人権 | | | | |
|---|---|--|---|-----------------------------|
| テーマ・目標 インターネットには様々なリスクがあり、使い方を間違えると人権侵害の被害者にも加害者にもなることを理解するとともに、インターネットの正しい使い方について考える。 | | | | |
| 対象者／人数 | | ／ | 人 | 日程・時間 目安の時間 75分 |
| 時間 | ねらい | 場面／アクティビティ／問い | | 場の設定 |
| 1 10分 | 本日の研修の雰囲気づくりをし、本日のテーマに入りやすくする。 | 導入：「自己紹介」 ○ファシリテーターのあいさつ ○自己紹介と「最近活用しているスマホアプリやインターネットの活用」について紹介する。 | | 島型 4～5人 |
| 2 30分 | SNS を利用して起こる問題について知り、その理由・原因について考える。 | 展開①：ウォールライティング「何が問題？」 ○事例1（動画1）「SNS を通じた出会いの危険性」を見て、問題が起きた理由や原因について考え、各自が付せん紙に記入する。 ○似た意見の付せん紙を分類しながら模造紙に貼り付け、見出しを付ける。 ○事例2（動画2）「思ったまま SNS に送信しただけなのに」を見て、動画1と同様に活動する。 ○いくつかのグループが発表し、全体で共有する。 | | 資料 付せん紙 模造紙 マーカーペン |
| 3 10分 | インターネットによる具体的被害について考える。 | 展開②：ディスカッション「この後どんな問題が？」 ○事例1、事例2の後に、どんな問題が起こる可能性があるかについて話し合う。 | | ワークシート |
| 4 15分 | インターネットによる人権侵害の被害者、加害者にならないために、気を付けることについて話し合う。 | 展開③：ブレインストーミング 「気を付ける点はどこ？」 ○インターネットによる人権侵害を防ぐために気を付けることについて考え、ワークシートに記入する。 ○グループ内で紹介し合う。 ○グループごとに発表し、全体で共有する。 | | ワークシート |
| 5 10分 | 研修を振り返り、今後の意識、行動の変容につなげる。 | まとめ：チェックアウト ○ネット利用チェックシートを記入して、自身の言動を振り返る。 ○研修を通して学習したことを、今後どのように生活に生かしていくかをワークシートにまとめる。 ○感想を数名に発表してもらう。 ○ファシリテーターの話。 | | チェックシート ワークシート |
| 準備物 ・ワークシート ・資料 ・チェックシート ・付せん紙 ・模造紙 ・マーカーペン | | | | |

動画1

「SNS を通じた出会いの危険性」



動画2

「思ったまま SNS に送信しただけなのに」





インターネットの利用と人権

【1】 インターネットによって起こった問題の理由、原因は何だと思いますか。



付せん紙に記入

事例1(動画1)「SNSを通じた出会いの危険性」

事例2(動画2)「思ったままSNSに送信しただけなのに」

※文科省「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」動画教材より

【2】 事例1、事例2では、この後どんな問題が起こる可能性がありますか。

<事例1>

<事例2>

【3】 インターネットによる人権侵害の被害者、加害者にならないために、気を付けること、大切なことはどんなことですか。

【4】 本日の研修を通して、思ったことや今後の生活に生かしていきたいことはどんなことですか。



【資料】

< 事例1(動画1) あらすじ > 「SNSを通じた出会いの危険性」

ひかるは女子高生で、アイドルの「マヤちゃん」のファン。

ある日、ある SNS サイトを見ていると、同じ「マヤちゃん」ファンを見つけた。そして、フォローして、個別にメッセージのやり取りをするようになる。その中で、自分の名前が「ひかる」であることを明かした。

その後、「マヤちゃん」の限定 T シャツをもらうということで、そのファンと実際に会うことになった。会った男性は、とてもいい人だと思った。その後も、メッセージのやり取りを続け、再度会うことになる。カラオケへ2人で行く約束をしたが、その場に知らない男性3人が突然合流。

ひかるはどうしていいか分からず、困惑してしまう。

< 事例2(動画2) あらすじ > 「思ったまま SNS に送信しただけなのに」

(1) ある日、女の子が自宅でケーキを食べた。とてもおしかったので、友達に写真付きでメールを送り、さらに、ある SNS サイトに投稿した。後日、別のケーキ店のケーキを食べた。しかし、あまりおいしいとは感じなかった。とても残念な気持ちになったので、SNS サイトに「最近残念なお店」と題して写真付きで投稿。すると、その投稿にコメントが寄せられた。その中には、「買わないように地元の人に伝えておきます」というコメントもあった。しかしその後、そのケーキ屋は同じクラスの同級生の姉が勤める店だと分かった。

(2) 女の子のファンであるアイドルの握手会が、体調不良のため中止になった。その後、実はそのアイドルが握手会の日、恋人と会っていたという情報を SNS 上で知った。だまされたと感じた女の子は、「#拡散希望 熱愛発覚!恋人と会っていた」という内容を投稿。しかしその後、恋人と会っていたという情報がデマかもしれないと知る。アイドルの公式サイトでは、精神的なショックによる活動休止、名誉棄損で訴える準備を進めていることが発表された。SNS サイト上では、拡散した人を特定しようというメッセージが投稿され、女の子が困ってしまう。